

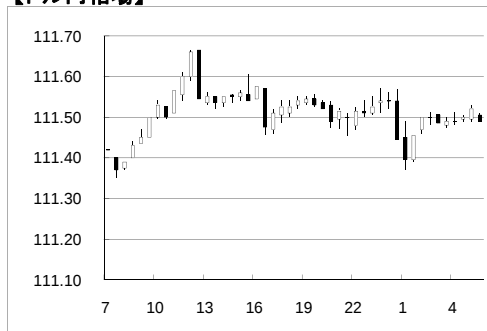
みずほCustomer Desk Report 2019/05/07号(As of 2019/05/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	111.45	1.1203	124.87	1.3052	0.7014
SYD-NY High	111.66	1.1219	125.12	1.3083	0.7029
SYD-NY Low	111.35	1.1170	124.57	1.3019	0.6995
NY 5:00 PM	111.52	1.1172	124.60	1.3032	0.7000
NY DOW	26,307.79	▲ 122.35	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,036.77	▲ 12.87	日本10年債	-	-
S&P	2,917.52	▲ 6.21	米国2年債	2.3448	3.84bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.3459	4.34bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.5441	4.33bp
シカゴ日経先物	22,295	80	独10年債	0.0280	1.60bp
ロンドンFT	7,351.31	▲ 33.95	英10年債	1.1850	3.60bp
DAX	12,345.42	1.34	豪10年債	1.7885	0.90bp
ハンセン指数	29,944.18	245.07	USDJPY 1M Vol	4.93	▲ 0.19%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	5.56	▲ 0.13%
NY金	1,272.00	▲ 12.20	USDJPY 6M Vol	6.10	▲ 0.13%
WTI	61.81	▲ 1.79	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	181.90	▲ 1.76	EURJPY 3M Vol	6.62	▲ 0.18%
ドルインデックス	97.83	0.15	EURJPY 6M Vol	7.06	▲ 0.18%

アジア	アジア時間のドル円は111.45レベルでオープン。前日海外時間のFOMCにおいて、パウエルFRB議長の会見が想定したほどハト派寄りではなかったことを受けたドル買いの流れを引き継ぎ、徐々に水準を切り上げる展開。アジア株が全般的に堅調推移したことなどもサポート材料となり、ドル円は111.66高値をつけた。その後、やや押し戻される格好となり、111円台半ばで揉み合い推移する中、111.54レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.54レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、早朝は若干円安で推移。111.57まで上値を伸ばす局面もあったが、FOMCによるドル買いの勢いが収まる中、3日に控える米4月雇用統計の発表もあり、その後は横ばいとなった。結局111.50レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3056レベルでオープン。英中銀政策金利を現行の0.75%に維持したものの、成長見通しが上方修正されたため、1.3083まで上昇。9名の金融政策委員会(MPC)は全会一致で据え置きとなったが、市場の一部ではその中の1名が利上げを主張することが予想されていたためか、1.3023まで反落。その後、新材料に欠ける中、1.3046レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.50レベルでNYオープン。NY朝方は新規失業保険申請件数が予想を上回るものの、ドル円の反応は限定的となる。その後は米金利が上昇したことから111.57まで上昇するが、株式市場が軟化する動きを受けた円買いが持ち込まれ、ドル円は111.37まで下落する。その後は株式市場が下げ渋る中、3日の米雇用統計発表を控え、111.50付近での推移が続き、111.52レベルでクロスした。一方、ユーロドルはフランス4月製造業PMIが予想を上回ったことから1.1219まで上昇し、1.1205レベルでNYオープン。NY朝方は狭いレンジでの推移が続くが、米金利上昇を受けたドル買いに、ユーロドルは1.1176まで下落する。その後も株安を受けたユーロ円の下落に連れて1.1172まで続落。NY午後には安値圏での推移が続き、1.1170まで下落し、1.1172レベルでクロスした。

【ドル円相場】



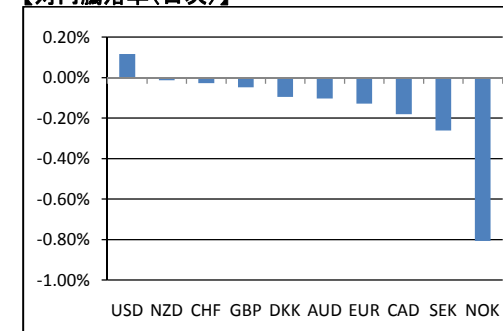
【ユーロ円相場】



【ポンド相場】



【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。